

華風



「2022 年を迎えて」



理事長 張文乃

特定非営利活動法人国際音楽協会

発行：2022 年 1 月 1 日 第 92 号

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 2 - 13 - 9

<http://www.zhonghua-huiguan.com/music/>

Tel 078-392-2711

Fax 078-392-2811



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては益々ご健勝にて幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

年明けと共に、まさしく新しい生活スタイルの新しい年が始まりました。

新型コロナウイルスの世界的感染拡大という、非常事態を経験した私たちは、いったい何を学び、何を経験したのでしょうか。

非常に苦しく恐怖に満ち満ちた長い時間を過ごし、これまでとは違う時間が確実に始まり、これまでとは違う新たな社会生活の始まりを知りました。

科学の発達と共に、便利で快適な生活を手にした私たちは、その影で様々な問題を抱えることになりました。それを一人ひとりが真摯に受け止め、考えて行動しなければならない時代の到来を感じざるを得ません。

とはいえ、IT の時代がどんどん進み昭和生まれでそのような教育を受けていないものにとりましてはどんどん取り残されていくという不安もあります。果敢に挑んでいこうと思います。「知る」という好奇心の海を泳ぐことを皆さんと楽しめたら、こんなに素晴らしいことはありません。

さて、今年は日中国交正常化 50 周年を寿ぐ年でもあります。日本と中国のみならず世界中が平和であることを願っております。キーワードは、「許す」という言葉かもしれません。歴史上、様々な行き違いも摩擦もあり、お互いに傷つくことも少なくなかった 2 つの国。しかし、全てを慈しみ、敬う広い心で、豊かな精神を培いたいものでございます。

音楽がその一助になれば幸いです。音楽の活動もまた、私たちにとっては「挑戦し続けること」にほかなりません。今年もまた、皆様とともに、素晴らしい時間を過ごせることを楽しみにしております。

昨年は、コロナの感染状況に一喜一憂しながらも、一つずつ丁寧な対応を心掛け活動を続ける日々でした。様々な工夫を考えることで、いろいろな見直しや試みもあったことは、人間万事塞翁が馬という感じでしょうか。何事も前向きに考えられるのも、音楽のおかげです。

それでは昨年 2021 年 11 月以降の行事報告をさせていただきます。

11 月 3 日(祝)午後 1 時 30 分から 3 時 30 分、神戸北野天満神社にて、私が第 3 回目から実行委員長を務めさせていただいている「神戸北野国際芸術祭 2021」の第 19 回目でした。2020 年はコロナ禍でやむなく中止となったので、今回ご出演の皆様には待ちに待った一年でございました。これは、歌舞音曲には国境はなく心の平和を世界に発信する芸術祭です。当日ご出演くださった皆様はそれぞれに想いのこもった素晴らしい演奏であり、中国、韓国、南インド、ハワイなどの舞踊が披露されました。この素晴らしい芸術祭にご縁をいただいて九州からは二胡奏者劉福君先生が特別出演くださいました。飛び入りだったのでチラシには載っておりませんが劉先生の自作「秋雨」の演奏(秋の夜長の情景が目浮かぶような素晴らしい曲でした)。さらに「川の流れるように」「地上の星」そして有名な二胡の曲「賽馬」(馬の嘶きさえ聴こえてくる内モンゴルの草競馬の情景を描いた傑作)へと続けました。聴く人々を魅了した芸術祭での演奏や踊りは、神戸北野天満神社の大神さまへのご奉納でした。

それだけにご出演の皆様のお心も普段の出演とはひと味違う緊張すら感じました。大成功にお導きくださいました神社の佐藤典久宮司様はじめ沢山の方々にあらためて感謝申し上げます。

11月22日(月)「第43回ロビーコンサート」は中華会館6階ロビーにて午後2時からたっぷり1時間行われました。一宮桜花(さくらインホァ)合唱団の力強い国際音楽協会会歌に始まり、大森貴子さんのユニークな司会進行で「鈴蘭」「月見草の花」「讓世界充滿愛」の3曲を、鮮やかなブルーとオレンジのチャイナ服に身を包んだ団員達の美しい声でご披露くださいました。中国語は難しいとおっしゃりながらも頑張って歌ってくださるお姿に、私は感謝の気持ちいっぱい指揮をさせて頂きました。この日のゲストの濱崎繁一さんは、雲南省の民族楽器フルスと日本の篠笛の演奏、そしてコロナ禍においての大切な「フレイルについて」のお話をしてくださいました。濱崎さんは音楽を通して、いろいろとわかりやすく伝えてくださいました。さすが元中学校の教師をされていたベテランの先生。皆様の日常に役立つお話の数々で「いつまでも健康で歌い続けてください」と心のこもった温かいお言葉に、参加者一同大変お喜びでございました。

今年は日中国交正常化50周年の記念すべき年でございます。振り返れば50年前、国交正常化の喜びを神戸の華僑、老若男女40名が集まり「歌唱祖国」「團結就是力量」を声高らかに歌った、その時の指揮は文啓東(後の神戸中華同文学学校校長)、ピアノは私が担当させて頂きました。そのご縁で中国の歌を歌ってくださる合唱団は大変多くなり、今では8団体が中国の歌を歌い続け、日中友好の絆を深めてくださっています。

思えば、中国の歌以外にベートーベンの第九シンフォニーの合唱もドイツ語で「一万人の第九コンサート」に参加、年末恒例となり約20年間、皆様と練習を重ね、大阪城ホールへお連れした懐かしい思い出もあります。

11月23日(火)午後4時30分から神戸華僑会館にて2年ぶりとなる役員会を開きました。2022年は日中国交正常化50年という記念すべき年です。私ども協会も5月7日と8月6日にお祝いのコンサートを企画致しております。また6月の中国音楽コンクールも新しい方式を取り入れ、より多くの方々に参加していただけるように準備するなど、皆様からの熱心な取り組みや議論が飛び交う活気あふれる会議となりました。これからも、ますます会員の皆様と共に力を合わせて実りある一年にしていきたいと願っております。

11月28日(日)午前11時から、奈良県明日香村にある橘寺にて開催された聖徳太子生誕1450年祭献茶式に、国際女声アンサンブルが「日中韓の絆で歌う『故郷』」と題してアカペラで3カ国語で歌い、お祝いをさせて頂きました。またザ樫原ホテルでの祝賀会では「茉莉花」を日中の言葉で歌い皆様にお喜び頂きました。お寺での奉納は献茶式、書道、和太鼓、シャンソンなどがあり、祝賀会ではこれ以外にロシアの歌舞、さらに、蹴鞠もあり華やかでした。賑々しい中で集合写真を撮影してお開きとなりました。100年に一度のような会に参加できましたことをこの上なく幸せに思えました。お声がけくださいました申雅孔先生に心より感謝申し上げます。

12月13日(月)午後2時から中華会館6階にて第44回ロビーコンサートでした。国際女声アンサンブルの演奏、続けて私が10年ぶりに「歌で綴る12か月」と題して季節にまつわる12曲を中国語、英語、日本語、イタリア語、台湾語と5つの言語で歌わせて頂きました。あまり人前で歌うことのない私でしたが、いい勉強の機会を与えて頂き感謝致しております。

今回のロビーコンサートには100人近い方たちがお見えくださり、お配りしました歌詞カードを一生懸命ごらんになりながら知っている曲があると優しい声で一緒にくださったり、二重唱してくださったり、バックコーラスを入れてくださるなど、とても和やかな温かい雰囲気コンサートとなりました。コンサートが成功するか否かの鍵を握るのはお客様にあるといつの日か聞いたことを、思い出しました。あらためて今回コンサートにお越しくださいました素晴らしいお客様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新しい年を迎え、心新たに、音楽で皆さまと一緒できますことを楽しみにしております。

浜寄 繁一

- ・歩くときは、かかとで着地し、つま先で蹴り出しています。転倒防止にもなりますので毎日、10～20回続けましょう！

・椅子に座り、片方の足を床と平行になるところまでゆっくり伸ばします。
これを左右交互の10～20回毎日続けましょう！

- ・椅子に座り、片方の足を上げます。その時、足の付け根のところからあげます。これを毎日 10～20 回続けましょう。

・「きらきら星」等の簡単な曲を《パタカラ》歌ってみましょう！

・「耳下腺」「顎下線」「舌下線」をマッサージしましょう！

いわゆる免疫力のことです。元気（正気）を活性化して、免疫力アップしましょう！

A photograph of a woman, likely a performer, standing at a podium in a room with wood-paneled walls. She is wearing a white headscarf and a patterned dress. A television screen is mounted on the wall behind her. The room has a modern, minimalist aesthetic with a large potted plant on the right.



- 4 -